

生成AIを活用した 技術系英文作成セミナー

～ 今さら聞けない生成AIの技術英訳：誤訳を防ぐ基礎と応用法 ～

開催日時 2026年11月19日(木) 各回とも 9:30～17:00
2027年 1月21日(木)

開催方式 オンライン(ZOOM)

対象

- 英語技術文書の取り扱いがある方（マニュアル作成・Eメール・英訳/和訳・情報収集など）
- 英語でのやり取りの回数を最小に抑え、業務効率の改善を図りたい方
- 英語に自信がないが、確実に情報を伝えたい方
- 英語に自信はあるが、相手の英語力が低くて伝わらない場合がある方

講師 平野 信輔 氏
一般社団法人日本能率協会 講師
(技術英検1級取得実務翻訳者)

参加料(税込) 法人会員：58,300円/1名
会員外：66,000円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

概要と目的

英語によるコミュニケーションで、誤情報の伝達をどう避けるか。いかに素早く正しい情報を届けるか。それは技術系コミュニケーションの現場における大きなテーマです。和文英訳においても生成AIの利用が広まり、情報を受け取る側でも、その精度についての意識が高まっています。

誤訳や読みづらさがどのように発生するかは、人間による翻訳でも生成AIによる翻訳でも、基本的には同じです。そのメカニズムをコントロールすることが、高品質な翻訳をする上では不可欠です。特に、生成AIの場合はそのスピードが仇となり、コントロール不足が誤訳の大量生産につながることもあります。ハルシネーション（事実に基づかない情報や、実際には存在しない情報を生成してしまう現象）に対しても十分な注意が必要です。

本セミナーでは、和文英訳における誤訳や読みづらさの原因を明確にし、それを解消する手法を探っていきます。生成AIからの英文出力を、いかにして熟練の翻訳者の品質に近づけるか。講義と演習を通して、生成AIを活用した高品質な技術系英文の作成手法を習得していただきます。

■ プログラム		9:30～17:00 [昼休み] 12:30～13:30
<p>1 技術系和英翻訳に求められるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 正確で素早く読める英文 — 概念と実例 翻訳作業のスピード <p>2 人間にも生成AIにも問題がある</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の翻訳者によくある問題点 — 時間(=コスト)がかかる / 品質のばらつきが大きい 旧来の自動翻訳によくある問題点 — 不自然・不正確・意味不明 生成AIによくある問題点 — 自然に読めるが中身が違う <p>3 誤訳やわかりづらさの発生メカニズム</p> <ul style="list-style-type: none"> 原文に問題がある場合 翻訳者の力量 / 生成アルゴリズムに問題がある場合 	<p>4 誤訳やわかりづらさを抑え込むには</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語と英語の特性差を吸収する 訳しやすい原文 / 生成AI対応の原文を作る プロンプトを工夫する <p>5 生成AI出力やドラフト翻訳のチェックポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 文法 論理の流れ 用語の正確性 文章のスタイル <p>6 演習 翻訳実践セッション</p> <p>演習 1 日本語（入力）の改善</p> <p>演習 2 プロンプトの工夫と、出力のチェック</p>	

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。